

令和6年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

番号	団体名	特色ある取組
1	横浜市立名瀬小学校PTA	PTA主催の親子工作教室や給食の試食会などのイベント参加者を増やし、委員会やボランティア活動の積極的な参加に繋げるなどの工夫を行っている。また、PTA活動の一環として会長が隊長となり、PTA役員、全保護者、地域が連携して子どもたちの見守り活動を行っている。
2	横浜市立齋藤分小学校PTA	実行委員会や各委員会の日々の情報共有を電子化することで、紙文書を削減し、役員等への負担軽減を行った。また、保護者ボランティアからIT相談員を配置し、業務の効率化を積極的に図った。さらに、地域学校協働本部と連携し、PTAだけでなく、地域からもボランティアを募る仕組みを構築するなど、協働して活動を行っている。
3	横浜市立荏田小学校保護者と教職員の会（PTA）	PTA主催の夏祭りを通して、ボランティア活動に興味をもった子どもの「自分たちも活動に参加したい。」という声を実現するため、教職員とPTA本部役員が連携をとり、企画立案の段階から携われるよう体制を整え、子どもたちと一緒に「ハロウィンイベント」や「どんど焼き」を計画・実施した。
4	横浜市立上郷小学校PTA	PTA活動の課題を地域にも共有することで、地域の方に児童の登下校時の見守りに協力いただくなど、地域・保護者・学校の協力体制を大切にしている。また、ITツールを活用し、情報配信は基本メール通知とするなど、受け取り側の利便性向上と費用削減、さらにはPTA委員の業務負担軽減に取り組んでいる。
5	横浜市立菊名小学校「保護者と教職員の会」（PTA）	「できることをできる人ができる時に」と、PTA内の役割を見直し、必要となるボランティアをその都度募集するなど、働いている方でも活動に参加しやすくなるよう工夫を行っている。さらに、デジタルツールを活用し、ペーパーレス化、保護者の利便性の向上に加え、PTA活動の積極的な発信で、「見える化」をしている。
6	横浜市立平戸中学校PTA	学校、PTAだけでなく、地域にも参加してもらい、学校の敷地内の清掃、整備活動を行うなど、PTAが中心となって学校と地域を繋ぐコミュニティの場をつくっている。また、会員からの意見について、総会の場やPTAだよりでの発信、急を要するものはSNSを利用して意見交換し、回答するなど、意見に対するPTA役員内での検討や会員への周知の重要性を認識し、環境づくりに取り組んでいる。
7	横浜市立柏尾小学校PTA	ITを活用することでペーパーレス化を図り、保護者が学校へ参集する機会を最小限にして、効率化や負担軽減を実現した。また、「PTA意識調査アンケート」を実施し、全会員に対して結果を公表。会員からの意見について議論し、活動の見直しに生かすなど工夫を行っている。
8	横浜市立日吉台小学校PTA	学校創立150周年記念イベントでは、地域や過去のPTA役員と協力し、記念樹の植樹など、子どもたちの思い出づくりに取り組んだ。また、PTAだよりを廃止し、ブログを立ち上げることによって、地域にも情報周知できる仕組みづくりをしている。
9	横浜市立西寺尾小学校PTA	今後のPTA活動が円滑に行われるように、PTA全体で活動の「省力化」に取り組んだ。「広報誌の回数を減らす」「外部発注を行う」「ペーパーレス化を行う」などを行うことで来校する手間をなくす等の工夫を行い、賛同の声が多く寄せられた。
10	川崎市立さくら小学校PTA	「ふれあいポスト」を設置したり、電子メールやSNSを活用したりして、常時会員の意見や要望を聴取できる体制を取ることで、保護者の声やニーズを大切にした運営を心掛けている。また、令和5年度には「PTA活動アンケート調査」を実施し、改善点などの意見を集め、活動の見直しを図った。
11	川崎市立東門前小学校PTA	中学校区で連携し開催している「教育を語るつどい」では、各学校の教師や児童とその家族、地域の方に参加を呼びかけ、「スマホ社会におけるボードゲームの価値」をテーマに講師を招いた。また、体験の場を設け、遊びを通してコミュニケーション能力を養い、人と人との心をつなぐ大切さを改めて実感できる機会をつくった。
12	川崎市立南生田小学校PTA	通学路の安全・安心に向けアンケートを実施し、気がついた点・危険だと思った点など収集し、「安全・安心マップ」を毎年更新し、ホームページにて公開している。また、見守りボランティアをしていただいている方々に取材を行い、PTA広報誌「ナントビー」を通して、地域として見守ることの想いや経緯、エピソードなどを保護者や子ども達に伝えた。
13	相模原市立双葉小学校PTA	地域や行政と連携を図りながら、通学路の危険個所の調査・改善に取り組んでいる。落書きのない通学路を目指して、地下道の壁に子どもたちの絵を掲示する、各地区において朝の見守り活動を実施するなど、子どもたちの安全安心な環境づくりに大きな成果を上げている。また、令和5年度は助産師を講師に招き、「命の授業」を開催するなどの学習活動も積極的に行っている。
14	相模原市立大島小学校PTA	河川のパトロール、まちづくり会議への参加など、地域イベントに積極的に参加し、地域住民と普段から連携することで、子どもたちが地域の大人たちから見守られ、安心して学校生活を送ることができるよう努めている。また、給食の試食会を実施し、食育の観点から保護者や子どもを支援できる機会を設けるとともに、進学前の疑問や不安を軽減できる活動に取り組んでいる。

令和6年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

15	相模原市立鶴野森中学校PTA	PTA主催の「共学体験」という事業を実施している。保護者や地域住民が講師となり、生徒が様々な活動を体験することで、将来の職業選択にもつながるなど、大変好評を得ている事業である。また、令和4年度相模原市PTA連絡協議会主催の広報紙コンクールにおいて優秀賞を受賞するなど、わかりやすく伝わりやすい広報活動を実施している。
16	横須賀市立鶴久保小学校PTA	広報紙でPTAについての紹介をただだけでなく、運営委員会がPTAだよりを年2回発行し、PTAの行事や活動についての理解を促した。また、興味を持った保護者が委員会活動に参加しやすい仕組みをつくり、学校との協力体制のもと、PTA会員を取り巻く状況やニーズにこたえた。
17	横須賀市立富士見小学校PTA	PTA開催の夏の水遊びイベントには、300人以上が参加し、地域消防団の協力で校内に消防車を入れ、放水イベントも行った。日頃から運営委員が大切にしてきた地域や学校との絆や信頼関係があってこそ実施できた行事だった。参加者は多くのことを学ぶ機会となった。
18	横須賀市立久里浜中学校PTA	PTA活動の負担軽減を目指して、活動内容を各委員会で精査している中、進路担当の教員と連携して進路研修会として、それぞれ特色ある高等学校など4校の先生方から詳しい話を伺う機会を設けた。状況に合わせ、リモートを取り入れるなどしたところ、約半数の家庭、保護者が参加した。
19	鎌倉市立山崎小学校PTA	令和5年度からPTA運営支援アプリを用いた運用を開始し、オンラインによる会員管理や会費集金、お便り配信等を通じ、役員・委員の人数削減とセキュリティ強化に貢献した。また、会員証の廃止や印刷物のペーパーレス化による経費削減・環境への配慮等でも大きな成果をあげ、会員から大変好評を得ている。
20	藤沢市立大越小学校PTA	働く世代がPTAに所属する中、どのPTAメンバーも活動できるように、子どもたちや学校のためにできることを精選し、組織の改革など新たなPTA組織としての改革を続けている。また前年度の本部役員をはじめ運営委員会メンバーとオンライン上で連絡が取れる体制をとるなど、会員相互の和を図り、子どもたちのための環境づくりに努めている。
21	寒川町立南小学校PTA	平成6年4月に開校し、平成7年2月にPTAが設立されて以来、子どもたちの健やかな成長を願い、保護者、教職員、地域とのつながりを大切にしながら活動を継続している。PTAが中心となり30周年記念実行委員会を立ち上げ、令和5年度に記念式典、記念事業の企画・運営、記念誌作成を行い、子どもたちの記憶に残る記念事業を行った。
22	厚木市立依知中学校PTA	地域の各種団体とのコラボレーションによる事業を進め、地域と学校・保護者が一体となった活動・教育に寄与している。特に、ESTP活動(依知中学校と依知小学校が接する地域道路への花植え活動)には生徒・保護者合わせて60人程の参加があり、地域住民にも大変好評である。
23	海老名市立門沢橋小学校PTA	米づくりが盛んな地域の特色を生かし、学校・地域と連携して稲作活動を行っている。田植えから稲刈り、餅つきまでの一連の活動に全校児童が参加している。11月には、児童が収穫したもち米を使って保護者や敬老会等の方々や餅つきを楽しみ、つくたてのお餅を味わっている。また、協力者の方々にお餅を配付しており、大変好評を得ている。
24	座間市立相模中学校PTA	PTA役員の声を聞き、教師の負担にならないよう2学期初めの部活動がない日に、学年の教師と意見交換が出来る時間を、学校の年間計画に入れている。PTA役員から大変好評を得ている。また、PTA主催の進路に向けた講演会も学校の年間計画に位置付け、開催している。
25	平塚市立港小学校PTA	気軽にPTA活動に参加できるボランティア制を導入し、子どもをサポートする活動に参加しやすい体制を構築している。また、防災対策にも力を入れ、大規模災害発生時にアレルギー対応が必要な児童も摂取可能なアレルギー28品目不使用ゼリー及び保存水などを全児童の3日分を備蓄する取り組みを学校と協力して実施している。
26	秦野市立南が丘小学校PTA	社会の多様化と少子化が進む現代において持続可能な活動とは何かを考え、規約・細則を整備したことで参加する家庭が増加した。企業や地域の高校等に協力を依頼し、体験を通じて子どもたちの生きる力を育む環境づくりに努めた。
27	秦野市立鶴巻小学校PTA	『誰でも参加できるPTA活動を』という考えのもとで常設のPTA活動の見直しを図り、イベントを行う際はボランティアを募ることで、できることをできる人が行うという方針のもと活動が継続可能なものとなる環境づくりに努めた。
28	伊勢原市立大田小学校PTA	児童が楽しく学ぶ、体を動かす遊びをモットーに「ふれあいフェスタおた夢」を地域の外部団体や市子ども科学館などの協力を得ながら開催しており、地域学校協働活動のよい事例となっている。また、児童と保護者が一緒に歩き危険な場所などを確認する「見て歩きアンケート」を実施し、登校指導等、学校内外の安全活動の推進を行った。

令和6年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

29	小田原市立東富水小学校父母と先生の会（P・T・A）	できるだけ多くの保護者に気軽にPTA活動に参加してもらえるよう組織を見直し、活動内容に合わせた班編成を行うなどの改革に取り組んでいることが、会員からも好評を得ている。また、PTAが積極的に地域にかかわり、子どもたちの幸せのために細かな配慮をしながら主催行事を力強く充実してきたことで成果を上げている。
30	南足柄市立福沢小学校PTA	「こども110番活動」では、プレート掲示だけでなく、児童や保護者の興味を引くような簡易ジオラマを作成した。周知活用術（イベント時でのアピール、楽しみながらできるような穴埋め形式のプリント配布）も実行するなど、「こども110番」の周知に大きな成果を上げており、近隣PTAからも大変好評を得ている。
31	箱根町立湯本小学校PTA	昨年度実施の家庭教育講座では、広報・成人教育委員会の保護者が、親子で体験する活動を取り入れるなど工夫を凝らし、多くの参加者を募ることができた。他の常置委員会も含め、受け身的な活動ではなく、自主的な活動を行っていくことで大きな成果を上げている。
32	神奈川県立舞岡高等学校PTA	教員とPTAが連携し敷地の3分の1を占める竹林の整備を行っていたところに、生徒が加わり、「マイオカタケノコプロジェクト」と名付け、校内活動だけでなく、近隣小学校や施設、商店街等との地域活動へと発展し継続した活動になっている。現役PTAだけでなくOBの参加も積極的で、竹林を整備することで、環境保全、地域づくり、情操教育、多世代交流を実現している。
33	神奈川県立相模原高等学校PTA	コロナ禍を経験し、PTA活動が変化し中、他校の活動事例を取り入れ、状況の変化や時代にあった活動の展開を実施している。また、生徒とPTA役員との懇談会を実施し、生徒の声をPTA活動に反映するなど新たな取組みを行っている。
34	神奈川県立湘南台高等学校PTA	PTA本部と5つの委員会が生徒や地域とのつながりを大切にしながら活動している。インクルーシブ教育実践推進校として、学校の特色を生かし、生徒だけでなく保護者同士が多様性を認め合い、スムーズなコミュニケーションを取りながら、モットーである「3D」（できる時にできる人ができることを）を実践している。
35	神奈川県立座間高等学校PTA	平成14年に理科の教員が藍を実験材料として栽培し、文化祭で藍染教室を始めたことから、その後の歴代PTAがこの活動を受け継いできた。このことは、保護者のPTA参加意欲を高める要因となっている。また、令和5年度からは地域小学校との連携も実施されており、今後の効果が期待されている活動となっている。
36	藤沢市立白浜養護学校PTA	PTA会員全員がPTAの委員会に所属している。また、全体会で多くの保護者が顔を合わせるにより協力できる体制が作られており、『結束力』という強みとなっている。また、学習発表会で買い物体験ができる「児童生徒向けバザー」を開催するなど、児童生徒の学びにも寄与している。